

・ 前回までの懇談会における委員からの意見を整理すると、5つに集約された。その上で、第1回懇談会で提示した「基本的な考え方(案)」に示した3つの視点から意見を整理した。

活用方策に係る意見の要旨	意見の あった委員	検討の視点及び評価(案)			(参考) 類似用途の施設規模等	
		① 新たな時代に向けて知の継承を図る	② 被爆の実相を後世に伝えることができる	③ 跡地全体が「知の拠点」としての機能が高まる	大規模なもの	小規模なもの
1 広島大学や私立大学共通の教養課程を行う場	弘法委員 曾根委員 村上委員	◎ 主に次世代を担う若者に対して、教育・研究活動を行うことができる。	△ 教養課程の一部として、平和に関する科目を置くことができる。	◎ 「知の拠点」としての教育・研究機能が高まる。	広島大学東千田未来創生センター 〔 ・延床面積：5,150 ㎡（地上4階） ・部屋：講義室10室(大講義室の最大利用人数 345 人)、ミーティングルーム9室、プロジェクトルーム9室、ラーニングcommons、ラウンジ等 〕	サテライトキャンパスひろしま 〔 ・延床面積：998 ㎡ （広島県民文化センター内5階:638 ㎡、6階:360 ㎡ ※共用部の面積を含まず） ・部屋：講義室7室（大講義室の最大利用人数 200 人）、交流室2室、会議室1室、交流・情報発信スペース等 〕
2 地域の大学が連携し、広島ならではの平和に関する教育・研究を行う場	弘法委員 曾根委員 谷村委員	◎ 主に次世代を担う若者に対して、教育・研究活動を行うことができる。	◎ 平和や被爆に関する教育・研究を行うことができる。	◎ 「知の拠点」としての教育・研究機能が高まる。		
3 幅広い世代の人々が集い、多目的に利用できるコミュニティスペース（市民や学生の芸術作品発表や学習交流の場等）	小谷委員 河内委員 弘法委員 坪井委員 原田委員 村上委員	○ 多様な人々に交流の機会を提供し、知の継承に寄与することができる。	△ 多目的利用の一つとして、平和や被爆に関する活動に利用できる。	○ 跡地に新たな機能が追加される。周辺施設との連携も期待できる。	まちづくり市民交流プラザ 〔 ・延床面積：5,845 ㎡ （南棟 1～4 階、北棟 4～6 階） ・部屋：研修室3室、会議室3室、ギャラリー2室、マルチメディアスタジオ、フリースペース、ラウンジ等 〕	竹屋公民館 〔 ・延床面積：1,270 ㎡ ・(市営宝町住宅等との複合施設、1階の一部及び2階部分) ・部屋：ホール(利用人数 340 人)、会議室、研修室等 〕
4 多様な主体が、平和について考え、交流、活動し、その成果を発信する市民活動拠点	桐木委員 河内委員 坪井委員 原田委員 山川委員 頼委員	○ 多様な人々に交流の機会を提供し、知の継承に寄与することができる。	◎ 平和や被爆に関する活動を行うことができる。	○ 跡地に新たな機能が追加される。周辺施設との連携も期待できる。		千田学区集会所 〔 ・延床面積：265 ㎡ （地上2階、地下1階） ・部屋：集会室、会議室、和室 〕
5 広島の歴史、文化、自然、被爆等に関する資料を展示する施設（修学旅行生が平和について楽しみながら学習できる観光拠点としても活用）	小谷委員 弘法委員 頼委員	○ 学習の機会を提供する等、知の継承に寄与することができる。	◎ 平和や被爆に関して、学習の機会を提供することができる。	○ 跡地に新たな機能が追加される。周辺施設との連携も期待できる。	広島平和記念資料館 〔 ・延床面積：東館 10,315 ㎡ （地上3階、地下1階） 本館 1,615 ㎡ （地上2階、一部3階） ・部屋：展示室、会議室、ギャラリー、ホール、ロビー、収蔵庫等 〕 福岡市博物館 〔 ・延床面積：16,729 ㎡(地上2階) ・部屋：常設展示室、特別展示室、講堂、講座室等 〕	袋町小学校平和資料館 〔 ・延床面積：約 270 ㎡ （地上2階、地下1階） ・部屋：展示室 〕 広島大学総合博物館 〔 ・延床面積：274 ㎡(館長室等を除く) ・部屋：博物館本館(展示室)、収蔵庫 〕

※旧理学部1号館の敷地（面積約6,300㎡）の用途地域は第二種住居地域（容積率200%）であることから、延床面積の上限は約12,600㎡となる。